

# 協力隊のひとこと

2017年2月号

今月の担当  
えびな せいじ  
鮫名 星児  
(商工観光課観光係)



地域おこし  
協力隊



活動レポート Vol.19

## ●東御市とワイン文化

東御市に来る前からワインが有名だというのはなんとなく知っていました。そして移住して来てからはワインぶどう畑を日常的に見て、そのぶどうで作られたワインを楽しんでいます。なんて素敵な生活なんでしょう!と、言いたいところなのですが、少々値が張るのも事実で、今のところ「ちょっといいことがあったときに手が出せるワイン」という位置づけです。現在の東御市のワインぶどう畑は効率的に大量生産できるほどの広さがないので仕方のないことなのでしょう。祢津の御堂地区に30ha弱のワインぶどう畑を開墾する計画だそうです。それがうまくいってくればもっと日常的に地元のワインを楽しめるようになるのでしょうか。生活にワインが文化として浸透すればいいなと個人的に楽しみにしています。

古くからワイン文化が根付いている国々ではワインに関する名言やことわざも多数あります。かのドイツの文豪ゲーテは「ワインのない食事は太陽の出ない一日」という言葉を残しています。ご飯とみそ汁くらい当たり前にワインを飲んでいたのでしょね。私はみそ汁がなくてもそこまで落ち込みませんが。

そもそもそまでお酒が強くないので、彼らのように日常的にワインを飲むことはできません。居酒屋でもお冷が欠かせないわけですが、フランスにはこんなジョークがあるそうです。「食事と一緒に水を飲むのはアメリカ人と蛙だけだ」と。私はアメリカ人ではないのでどうやら蛙だったようです。けるけーろ。

